

板野中学校 同和教育だより

MY SKY No. 12

マイ・スカイ

2000年10月17日(毎月第1・第3火曜日きまぐれ)発行

発行者

編集・文責
駐吉成正士
副次本知己

先週感動するテレビ番組を見ました。NHK総合の「プロジェクトX」という番組です。弁護士中坊公平を中心とした弁護士チーム12人が、被害にあった多くのお年寄りを守り、だまし取られたお金、総額1200億円を取り返す闘いをドキュメントしたものでした。その中で、チームリーダーの中坊氏が「指揮官は、自らの退路を断たなければならない」という決意のもと、2年でお金を取り戻すことを自らに課したわけですが、相手は大企業や暴力団、そして国です。そんなに簡単な話ではなかったようです。あきらめや苛立ちの中、チームは知恵を絞り合って闘っていました。苦戦を聞きつけ、途中から1000人ももの全国の弁護士が協力を申し出たそうです。宮城県庁のある職員も、自らを盾としていました。また、実際に被害にあったお年寄りも、人間としての誇りと勇気をもって立ち上がり、街頭でのピラ配り、灼熱の真夏の太陽が照りつける中での何ヶ月間にも及ぶ抗議行動を始めました。多くの国民に呼びかけ、仲間をつくり、増やし、団結の輪が広がっていきました。でも取り戻せたのは、わずか1割程度の130億円だったそうです。中坊氏は、結果報告会の席上でお年寄りの人たちに詫言っていました。その時です。ピラ配りをしたあるお年寄りが立ち上がり、こう言っていました。

「わずか1割かもしれませんが、そのお金は、乾いたタオルから絞り出した一滴の水です」私は、見ていて鳥肌が立ち、目頭が熱くなりました。乾いたタオルから水なんか絞り出せるはずがない！全く不可能だったかもしれないことを、わずかでも可能にしたんだ！胸を張ってください！私にはそう聞こえました。

5年前、私は、足尾銅山鉍毒事件の田中正造をテーマにした、「亡国の構図」という劇を中学生に見せたいと思い、保護者の方々に相談したことがありました。プロの劇団ですから、当然高いお金がかかります。そのことについて、ある保護者の方からこう質問を受けました。

「もし券が売れんかってお金が回収できんかったら、先生が残りのお金出すで？」その答に、「いや～それは……」とのらりくらり逃げていると、「ほれでは引き受けれんわ！先生が『出す』っていうんだったら協力する。ワイは先生の腹(決意)を知りたいんよ！」と

言われました。その時、「あっそうか!」と目が覚め、「出します!」と即答しました。その後、保護者の方たちは、私の見えるところ、見えないところで、無茶苦茶協力してくれました。結局、多くの人々の支えで私がお金を出すことはなかったわけですが、あの時のことは今だ忘れられず、今でもあの時の保護者の方々に感謝している次第です。そしてその時のつながりは、「さくらホール友の会」という形で今に受け継がれることになりました。それもまた、ありがたいことだと思っています。

この話が同和教育に結びつくかどうか分かりませんが……私のひとり言でした……。



◇い・の・ち誕生「児生(こうき)」

9月24日、私に二人めの子どもが産まれました。名前は「児生」です。実は産まれる前から、心配していたことが一つだけありました。それは、「名付け」についてでした。

一人めの「恵里奈」が産まれたとき、私たち夫婦は「彩夏」という名前を用意していました。しかし、その名前を付けることはありませんでした。私の両親・親族に猛反対を受けたからでした。その理由は、私には理解できないようなものでした。一週間くらいの間、怒鳴り合い、叫び合い、悔し涙を何度も流しました。今では、自分のふがいなさを反省するしかないのですが、そんなことがあったから余計に気になっていました。おそらくみんなが気になっていたと思います。しかし、そのことは子どもが産まれるまで誰も口にしませんでした。

産まれた次の朝、私は自分の両親に産まれて初めて手紙を書きました。今度ばかりは、自分たちで付けた子どもの名前をそっと認めてほしいとの思いで書いたものでした。病院へお祝いに来る前に手紙を渡しました。「読んでから来てほしい」とだけ言い残しました。そして病院に入ってきてすぐに、両親はこう言いました。

「もうあの時のようなことは思っていないけん……」

ホッとしたと同時に、喜びを感じることができました。

いまだに差別問題のことなどで、ぶつかることの多い私たち親子です。感謝はしても、折り合わないことがたくさんある親子です。それは仕方のないことかもしれません。けど、「いくら言ってもダメだ」とか「死なな分からん」とは思いたくないのです。ねばり強くつながっていくことは大変です。諦めるのは簡単です。でも、諦めたくはないのです。そんなねばり強さを、私は部落差別をなくす運動の中から学ぶことができました。今の自分があるのは、そんな学びがあったからだと思っています。私は「児生」に、「日の光のもとで、堂

々と生きていく人間になってほしい」と願っています。

さて、今回も出産に立ち会ったのですが、その時にこんなことも思っていました。

「命を迎える瞬間・命を見送る瞬間は、理屈抜きに、人としてすごく大切なことを学ぶ場じゃないのかな……」

命はコウノトリが運んでくるものでもないし、工場から運ばれてくるものでもありません。また、命は隠されていつの間にか失っていくものでもないように思えるのです。やはり、産まれ来る命には祝福の気持ちを、去り行く命には感謝の気持ちを感じたいものだと思うんです。しかし、現代ではそういう瞬間に出会う機会が少なくなってきているのかもしれない。私も年をとったからでしょうか、命を見送る瞬間に数多く出会ってきました。おじいちゃん、おばあちゃん、おじさん、おばさん、いここ、中学時代の同級生、高校時代の同級生、教える子。昨年亡くなったバンド仲間の死は、言葉が出ませんでした。1歳にもならない子どもを抱えて棺にしがみつくと連れ合いの女性。私も含めて、30歳を越えるような仲間たちみんなが、その場で涙を流しながら天を仰ぎました。

しかし、人間は忘れる動物でもあります。でも、忘れかけた頃にまた「命を迎える瞬間、命を見送る瞬間」が自分を見つめさせてくれます。命を見送る瞬間に必要な以上に多く立ち会うことがいいとは思えませんが、「自分を見つめる瞬間」であることは確かだと思います。昨今の中高生の事件を聞く度に、「そんな瞬間に立ち会ってたら……」と思えるのですが……。



◇全学年・全体学習・揃い踏み Part 1 (2年10/3, 3年10/17, 1年11/1)

2学期の大きな行事も次々に行われ、それと同時に心を耕す学習、同和教育の方も進んでいるようです。その口火を切ったのは、10月3日の2年生第2回全体学習でした。以前紹介した「この子を残して」という資料を使って学習を深めたわけですが、まずその感想を読んでみてください。

私は全体学習をして、たくさんの人の意見を聞きました。自分とは違った考えの人がたくさんいました。私は、今完全に平和だと思っていましたが、犯罪や事件、事故がたくさん起こっています。原爆が落ちた8月9日、ナガサキではたくさんの人々が死んでしまいました。罪のない7万人もの人が意味なく死んでいると思いました。生き残った人は、一生後悔しながら生きていかなければならないのかなと思いました。2年女子

僕は、戦争を味わったことがないから、味わった人の痛みや苦しみが分かっています。けど、修学旅行を通じて少しでも分かっていたいと思っています。僕は、戦争の恐さをビデオを見て分かりました。僕は広島^{ひろしま}の原爆^{げんぱく}ドームに行ったことがあります。その時、すごくかわいそうに思いました。ガラスの破片^{はへん}が全身に突き刺^つさったり、電線^{でんせん}の下敷^{したじ}きになっている写真がありました。今、日本はとても平和だと思います。けど、他国では今でも戦争をしています。僕は、日本に生まれたことを幸せに思います。僕たちは、戦争に一度も出会ってないから、みんなは「原爆資料館に行くんやしんどい」と言っているけど、僕はそんなところに行けるのはいいことだと思います。その理由は、いい社会見学になると思うし、自分自身の勉強にもなると思うからです。よく8月9日の夜のニュースとかで、平和公園がうつります。僕はそのテレビを見ている時は真剣^{しんけん}に見ています。家族^{かぞ}を亡くした人たちは、心からお参^{まい}りしていました。その人たちは、戦争をすごく恨^{うら}んでいると思います。僕は戦争のことをあまり知らない人とかいたら、修学旅行でこういうふうに学んできたよとか話しかけていきたいです。僕は、これからも真剣に、全世界が戦争をしなくなるように呼びかけていきたいと思っています。 2年男子

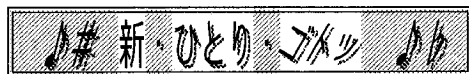
私は、今のこの世界は誰もがみんな平和とは言えないと思います。私にとっての平和は、「家族」だと思います。いつもどんなに辛い^{つら}ことがあっても、家に帰ってみんなの顔を見ると、何故^{なぜ}か安心してしまいます。私が今こうして家族がいて友達がいて、他にもたくさんの人たちがいる中で生きていられるのも、みんな昔の人たちのおかげだと思います。辛い戦争の中を生き抜^{いぬ}いて、その苦しみを今の私たちに伝えてくれたのだと思います。だからその苦しみを無駄^{むだ}にしないように、今の世界の人たちや次の世代の人たちへと伝えていきたいです。 2年女子

平和学習は、過去^{かこ}のことを学ぶだけではありませんよね。過去^{しじつ}の事実^{じじつ}を通じて、今の身のまわりの生活や社会を見つめ直し、安心して平和に過^{へん}ごせない原因^{げんいん}をみんなで解決していこうとするものだと思うんです。その歩^{あゆ}みは、人により大きい、小さいがあると思います。でも、今の「平和という温泉^{おんせん}」にどっぷりつききってしまうのではなく、より良い平和のために、そして後世^{こうせい}にそのより良い平和をつないでいくために、一人ひとりが他人事^{とら}と捉えなような学習にしていましょうね。自分のこれからのことですから！

さて、10月17日には3年生が、そして11月1日には1年生が第1回全体学習を行い

ます。3年生、1年生のみなさん、思い、感じたことを素直に、勇気を持って発表してみま
しょうね！その感想などについては次号紹^{しょうかい}介したいと思いますので、どうぞお楽しみに！

▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼



以前マイスカイに載せた、徳島ミュージカル^{げきだん}劇団

「びいたあばん」による2000年記念公演ミュージカル「チャンス ^{すこ}ほんの^{あい}少しの^{かんしん}愛をくだ
さい」のチケット発売が始まったようですので、^{くわ}詳しいことをご連絡しておきます。

なお、オーディションには、町内だけで約20人の応募^{おうぼ}があったそうです。それだけ関心^{かんしん}
を^よ寄せているということですね！みなさんもお見逃^{みのが}しなく！！

と き 12月10日(日) 開場13:00 開演13:30
と ころ 板野町文化の館 さくらホール
チケッ ト 一般:1500円, 高校生以下1000円
発 売 所 文化の館, 井上書房, ジュピター, 写真のイナトミ, 吉成

ミュージカルは人気があるので、早めにチケットを手に入れておいてください!!

▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼△▼

◇ **これからの日程** ◇ ◇ ★ ☆ ☆ ★ ★ ★ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

- 10月17日(火)・18日(水) 1年生宿泊訓練(牟岐少年自然の家)⇒次本が行きまっせえ～！
20日(金) 板野町学同研授業研究会就学前部会(9:00～12:00；板野保育園)⇒かわいい！
23日(月)・24日(火) 中間テスト⇒テスト前は勉強するもの！がんばれ！！
24日(火) 徳島県中学校同和教育研究大会(阿南第二中学校)⇒佐川先生・稲富先生行ってらっしゃ～い！
26日(木) 3年生「進路を考える集い」(13:30～；体育館)⇒自分のことです！しっかり参加しよう！
27日(金) 文部省指定人権・同和教育研究大会(立江中学校)⇒瀬川先生行ってらっしゃ～い！
31日(火) 板野町学同研授業研究会小学校部会(午後；板野東・西・南小学校)⇒将来の板中生！！
11月1日(水) 1年生第1回全体学習(1年D組)⇒
2日(木) 板野郡同和教育研究大会(午後；北島町内)⇒午後から学校のみなさんはお休みです！